

【事業名】寒冷地住宅における快適性と脱炭素を両立する機器制御による行動変容促進事業

【事業代表者】mui Lab株式会社

【共同事業者】北海道ガス株式会社

目的

家庭部門はCO2排出量の約16%(*)を占め、2030年に66%削減(2013年度比、*)が求められる一方、「省エネ＝我慢」という潜在意識が目標達成の障壁となっている。本事業では、快適性を保ったまま省エネできる体験を提供し、省エネに対する不安を解消しながらCO2排出削減を図る。

※出典元:環境省「2022年度(令和4年度)温室効果ガス排出・吸収量について」、「令和3年 地球温暖化対策計画」

概要

北海道ガスが展開中のエネルギーマネジメントサービス「EMINEL」と普及版モデル「EMINEL-smart」に対し、両サービスに対し、共同で省エネ機能の拡張を実施。自宅の電気・ガス使用量をアプリ上で確認できることに加え、サーバまたはHEMS Gatewayから冷暖房機器の最適制御機能を追加することで、手間なくCO2削減を行う機能を提供する。

提供スキーム

センサーとサーバ/HEMS Gatewayを利用し、居住者が意識・操作しなくても最適な省エネ制御が自動実行。
無駄なエネルギーのカットにより、我慢することなく、快適性を維持したままCO2削減が実現する。
希望者には訪問による設置・初期設定サポートも提供する。

手間なく
省エネ

無理のない
省エネ

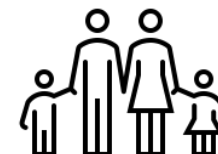
機器の連携、
システムによる
省エネ制御

省エネへの
意識醸成

快適性を
損なわない
省エネ制御

赤外線リモコン/HEMS Gatewayにより、エアコン・床暖房・給湯器・換気設備をアプリ上で一元管理・自動連携制御 HEMS Gatewayでは太陽光・蓄電池などと連携し、省エネ制御を実施

設置サポートにより**設置・配線・初期設定まで完結**するため、居住者側の技術的ハードルが実質ゼロになる



省エネ制御の
見える化で
意識醸成

省エネに関する
アドバイス

アプリ上で機器別・時間帯別のエネルギー消費を可視化。**何を変えれば効果があるかがわかる**ようにする

また、スマートホーム機能により、アプリが生活動線の一部として使われ、エネルギー消費画面への接触頻度が自然と高まり、「**省エネを意識する習慣**」が日常に組み込まれる